

日本初！産業廃棄物（廃石膏）を活用し、下水からリンを回収する装置（ミニプラント）による実証実験を開始します。

資料提供
平成23年12月7日
課名 研究開発課
担当者 岡本、尾村
内線 2427
直通 082-513-2427

廃石膏を活用したリン回収実験装置の試運転 及び実証実験の実施について

1 概要

県立総合技術研究所（保健環境センター及び西部工業技術センター）は、(財)広島県下水道公社の協力を得て、下水中のリンと産業廃棄物である石膏（廃石膏ボード）を反応させ、リンを回収する再資源化技術の開発に取組み、リン含有率の高い生成物を効率的に回収できる技術を実験室レベルで確立した（2008年基本原理について特許出願中）。

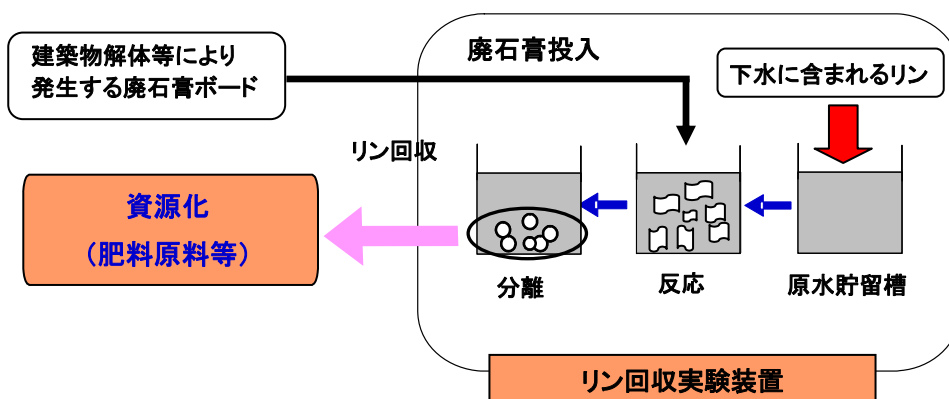
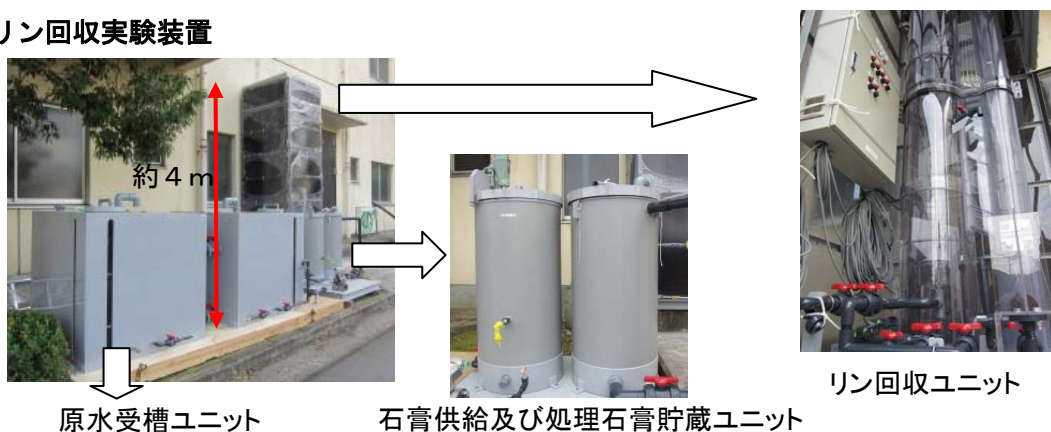
このたび、実施している研究開発については、NPO法人広島循環型社会推進機構（理事長 今岡務）からの委託を受け、次の課題である装置化における最適条件の検討等を行うため、リン回収実験装置（ミニプラント）を広島県太田川流域下水道東部浄化センター（広島市南区向洋沖町1番1号）に設置し、(財)広島県下水道公社、県内企業、広島工業大学等と実証実験を行う。

なお、廃石膏を活用した下水中のリン回収技術の研究開発に取り組んでいるのは、広島県だけである。

2 実用化された場合の事業効果（環境問題等への対応）

- 建築物の解体等により発生する廃石膏ボードの埋立て処理量の削減
- 下水処理場からのリン排出量の削減
- リン回収物の肥料原料などへの有効利用

3 リン回収実験装置



4 今後の予定

平成23年12月13日（火）13:00～15:00 実験装置の試運転
平成23年12月中旬（試運転完了後）～ 実験開始

実験装置の試運転については、広島県太田川流域下水道東部浄化センター内（広島市南区向洋沖町1番1号）において、取材対応します。